



読者の皆様の
投稿ページ

緑のテラス

今月のテーマ 「夏の思い出」

夏の思い出と言えば、今から五十年前も前の夏の日、我が家で初めて海水浴に行ったことを思い出します。

三人姉妹の私は長女で、二歳下の妹と八歳下の妹があり、八歳下の妹は当時二歳くらいでとても小さかったと思います。父の会社の保養所がある葉山へ、両親が三人娘を連れて行ってくれました。多忙な両親だったので家族旅行も少なく、我が家にとって海に行ってくれたのは後にも先にもこれが一回限りとなりました。しかし、忙しい父、出不精な母が連れて来てくれたことに子ども心にもありがたいなと思ったことを覚えていきます。

その父も九十一歳で亡くなり、今年三回忌を迎えました。母は現在八十八歳になりますが、自分のことは何とか出来るような状況で、施設にお世話になっています。

私たち三人娘も今では揃って五十代になり、とても感慨深く思います。
(藤の花)

私の小学校時代（今から四十五〜六年も前）の話です。当時四年生までは学校指定の海水パンツをはいてプールの授業を受けるのですが、なぜか五〜六年年生の二年間は赤ふんを使用する小学校でした（いわゆるふんどしです）。都内でも一校だけだったみたいです。

夏休み前になると体育館で締め方の講習会が何回もあり、そのあとプールで実践するのですが、飛び込んだあとに赤いものが何本も浮いたりしていました。また、よほど珍しかったのか当時NHKのカメラリポートという朝の番組で取り上げられ、夏の臨海学校にカメラマンとリポーターが帯同しました。帰京して番組の再放送を友達と一緒に見た事が、夏になると思い出されます。
(下田の赤ふん)

私が夏と聞いて思い出するのは、まず部活。中学から大学まで十年間吹奏楽に明け暮れた。

その中でも夏といえば最大のイベント、コンクール。夏休みは朝から夕方まで、合宿に行けば朝から夜遅くまで、大好きな楽器を吹き続けられる、私にとっては夢のような時間。

そんな私の学生時代最後のコンクール。十年の集大成のつもりで臨んだ演奏は心の底から楽しんだ。結果発表では皆で手をつなぎ祈る心はただ一つ。念願だった一つ上の賞を呼ばれると皆で涙を流して大喜び。これが私の最高の夏の思い出IIザ・青春。
(クラリネット大好き)

六十代の頃、三組の夫婦と、二子玉川の花火大会と洒落込んだ。我先にと無料一等席の陣取りに成功。土手にシートを敷き、皆仰向けになって、今か今かと夜空を見上げて待っていた。すると頭の真上に、轟音と共に、巨大色彩豊かな花が上がった。皆、わあすごい！きれい！歓声、拍手が次から次へと、絶え間なく、小さまざまな花が咲く。こんな近くで、私達の所に落ちてくるのかと少し怖かった。近くに燃えかすが落ちてきた。生まれて初めての体験でした。感動を胸に家路に着いた。それは、感動、勇気、健康、もっともっとと仕事に励んで仕えなさい、と私達に祝砲を打ってくれているのだと思いました。夏のおもいで花火に、感謝いたします。
(世田谷区在住エンゼル)

投稿大募集



次回10月号のテーマは「旅の思い出」です。

旅の思い出やエピソードを300字以内で投稿して下さい。

★締め切りは8月30日必着です。

★文章を編集部で整理させていただく場合がありますので、あらかじめご了承下さい。

★投稿には住所、氏名、年齢、電話番号、ニックネームを明記の上、郵便、FAX、Eメールで下記まで

郵便 /158-8531

東京都世田谷区上用賀 6-25-1

「緑のひろば 緑のテラス 係」

FAX/03-3426-0326

E-mail/keiei-kikaku@kanto-ctr-hsp.com

※個人情報の取り扱いについて

ご記入いただいたお名前、ご住所、電話番号、メールアドレスなどの個人情報は「緑のテラス」への掲載と掲載誌の発送以外には使用いたしません。個人情報の取り扱いについては「個人情報について」をお読みください。

http://www.kanto-ctr-hsp.com/about_kch/privacy_policy.html